

令和2年7月7日	
所 属	文化振興担当
所属長	松長 昌男
電 話	06-6489-6385

---

## A-Lab Exhibition Vol.24「ディスタンス ～間隔と感覚～」を開催します！

---

### 1 趣旨

この度、あまらぶアートラボ「A-Lab」(えーらぼ)では、展覧会「ディスタンス ～間隔と感覚～」を開催します。新型コロナウイルス対策で、人同士の間隔をあけることとして使われているソーシャル・ディスタンス。本展は、日常の言葉として使われ始めている「ディスタンス」から、物理的な尺度だけでなく、いろいろな距離をテーマにしています。それぞれの作品から、人と人の距離はもちろん、精神的な距離、人とモノとの距離、記憶のような時間との距離など、個々人があらゆる場面で遭遇する様々な”距離”について感じてもらえたら幸いです。

本展の背景には、距離を取るということは、相手や対象を意識することになり、その相互の関係性の距離は却って縮まってくるのではないかという思いがあります。このような時代だからこそ、もう一度、他者との関係や大事なものとの距離などについて考えてみてはいかがでしょうか。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止策として、別紙1のとおり対策を行い展覧会を開催します。ご理解・ご協力の程よろしく願いいたします。

### 2 概要

会 期：令和2年8月1日(土)から令和2年9月22日(火祝)

会 場：あまらぶアートラボ「A-Lab」(えーらぼ) 尼崎市西長洲町2-33-1

時 間：(平日) 午前11時～午後7時 (土・日・祝) 午前10時～午後6時

※火曜日休館(この日が祝日の場合は、その翌日)

入場料：無料

出展者：上坂直、大洲大作、木藤富士夫、本多大和

問合せ：尼崎市文化振興担当(土日除く午前8時45分から午後5時30分)

電話 06-6489-6385 FAX 06-6489-6793

主 催：尼崎市 協 力：ベイ・コミュニケーションズ

### 3 関連イベント

8月8日(土)午後3時から、大阪電気通信大学教授でアートプロデューサーの原久子さんを進行役に迎え、出展作家とのオンライントークをライブ配信する予定です。詳細が決まり次第、ホームページなどで告知します。

### 4 作家略歴

別紙2参照

以 上

A-Lab



Exhibition

Vol.24

# ディスタンス

間隔と感覚

上坂直

大洲大作

木藤富士夫

本多大和

Distance

8/1 (土) -9/22 (祝)(火)

あまらぶ アートラボ **A-Lab**

尼崎市

# 間隔と感覚 Distance ディスタンス

2020 8/1 (土) - 9/22 (祝) (火)

(火曜日休館、9/22は開館)

入場料無料

月・水～金 午前11時～午後7時  
土・日・祝日 午前10時～午後6時

主催 尼崎市

協力 Baycom

A-Lab で展覧会「ディスタンス ～間隔と感覚～」を開催します。新型コロナウイルス対策で、人同士の間隔をあけることとして使われているソーシャル・ディスタンス。本展は日常の言葉として使われはじめて「ディスタンス」から、物理的な尺度だけでなく、いろいろな距離をテーマにしています。それぞれの作品から、人と人との距離はもちろん、精神的な距離、人とモノとの距離、記憶のような時間との距離など、個々人があらゆる場面で遭遇する様々な「距離」について感じてもらえたら幸いです。本展の背景には距離を取るといことは、相手や対象を意識することになり、その相互の関係性の距離は却って縮まってくるとはならないかという思いがあります。このような時代だからこそ、もう一度、他者との関係や大事なものの距離などについて考えてみてはいかがでしょうか。



撮影：馬込将充

## 【出展作家】

## 上坂直

Uesaka Nao



1991年、兵庫県生まれ。縮尺を操りながら制作することを通して、現代都市の在り方への疑問や違和感、そこに潜む人間らしさと向き合う【受賞】アートハウスおやべ現代造形展 特別賞・北日本新聞社賞 (2019)、Tokyo Midtown Award 準グランプリ受賞 (2015)【展覧会】六本木アートナイト 2019 (六本木ヒルズ他)、新鋭作家展「あ、これ、うちのことです。」(川口市立アートギャラリー・アトリア) 2019、NIIGATA オフィス・アート・ストリート 2017

## 大洲大作

Oozu Daisaku



1973年、大阪府生まれ。列車などの車窓にうつろい滲む、営為をうつす光そして影を掬い上げる作品《光のシークエンス》、《遠／近》などを制作【展覧会】大洲大作 未完の螺旋 (京成電鉄 旧博物館動物園駅) 2019、めがねと旅する美術展 (青森県立・島根県立石見・静岡県立美術館) 2018-19、あいちトリエンナーレ×アートラボあいち 窓から。2018、それぞれのリアル (A-Lab) 2018、Another Tokyo (スパイラル) 2018、ラブショー 2 (青森県立美術館) 2017、さいたまトリエンナーレ 2016

## 木藤富士夫

Kito Fujio



1976年、神奈川県生まれ。日常のよく目にするものは実はその時代のその時にしかない物であることを考えて、作者の時代の懐かしいもの、おもに遊具関係を撮影している【展覧会】UNKNOWN ASIA EXTRA ASIAN ART EXCHANGE (大阪 中之島ダイビル) 2019、公園遊具 (鳥羽) 公園遊具 (銀座・大阪 ニコン サロン) 2019、#005PHOTO PLAYGROUND (銀座 SONY PARK) 2019、公園遊具 (池袋 ジュンク堂) 2017、田園城市 秋元机氏 二人展「JAMAIS VIU」(台北) 2017

## 本多大和

Honda Yamato



1988年、東京都生まれ。「みたて遊び」や「発想体験」をキーワードに、体験型インスタレーションやアニメーション、トイアプリ等の制作を行う。演出手法はプログラミング、映像、イラスト、絵本、仕掛け制作、音響など【受賞】SICF20 EXHIBITION オーディエンス賞 (2019)、アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA 一般 / インタラクティブアート部門入賞 (2018)、文化庁メディア芸術祭 審査委員会推薦作品 (2013)【展覧会】TWO POCKET (HALO SPACE04) 2020、六甲ミーツ・アート 2019

## 会期中のイベント

## オンライン・アーティストトーク

8/8 (土)

8月8日(土)午後3時～5時、大阪電気通信大学教授でアートプロデューサーの原久子さんを行役を迎え、出展作家とのオンライントークをライブ配信する予定です。詳しくは A-Lab のホームページ、フェイスブックなどでお知らせします。

A-Lab では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策に取り組んでいます。ご来場の際に、マスクの着用や手指の消毒など、皆様のご協力をお願いいたします。取り組んでいる拡大防止策については A-Lab のホームページなどでご覧いただけます。

あまらぶ アートラボ

## A-Lab

(尼崎市西長洲町2-33-1)

<http://www.ama-a-lab.com/>

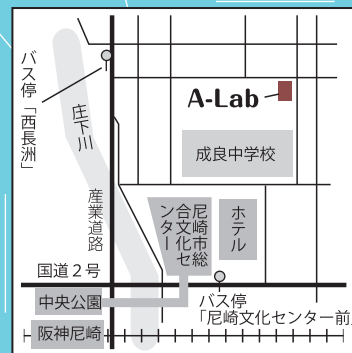
問い合わせ先

市役所文化振興担当 ☎ 06-6489-6385

A-Lab ☎/FAX 06-7163-7108



【参考図版】①上坂直《所在譚》2019、②大洲大作《光のシークエンス・Trans/Lines》2017、③木藤富士夫《北区王子六丁目児童遊園》2015、④本多大和《メイト》2019



会場には一般用駐車場はありません

## あまらぶアートラボ（A-Lab）における新型コロナウイルス感染症拡大防止策

## 【来場者へのお願い】

来場者へのお願いとして以下の内容を掲示します。

- ・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒をお願いします。
- ・咳・咽頭痛などの症状や 37.5 度以上の熱がある方、帰国後 2 週間以内の方の入場はご遠慮ください。
- ・エレベーターの使用は移動に制約のある方のみ使用していただくようお願いします。
- ・場内では間隔を広げてご鑑賞ください。
- ・鑑賞中に大きな声での会話はご遠慮ください。
- ・基本的に作品にはお手を触れないでください。直接手で触れることができる展示物は設置している手袋の着用をお願いします。
- ・資料、図書を閲覧する際は手袋の着用をお願いします。
- ・ご来場の際に、ご連絡先などをお伺いさせていただきます。
- ・サーモグラフィーを設置するとともに、来館者に対して検温を実施させていただく場合があります。また、一定値以上の発熱がある場合は入場をお断りする場合があります。
- ・スタッフはマスクを着用して対応させていただきます。
- ・基本的に荷物のお預かりができません。大きなお荷物はスタッフにご相談ください。

## 【接触・飛沫感染防止対策】

（入口）

- 1 入口に消毒液を設置します。

（受付）

- 2 受付に来場者の連絡先を記載してもらう用紙を設置します。
- 3 場内では間隔を広げてご覧いただくようお声掛けするとともに、フロアマーカを設置します。
- 4 配布物は手渡しで配布せず据置き方式とします。
- 5 受付に、飛沫感染防止のためシールドを設置します。
- 6 サーモグラフィーを設置して来場者の体温を確認するとともに、必要に応じて来場者の検温するため、非接触型の温度計を設置します。

（ロビー等）

- 7 配布するチラシは見本を掲示し、希望者に個別にお渡しします。
- 8 連絡先の記載やアンケート記入に使用した鉛筆はお持ち帰りいただきます。
- 9 ポートフォリオ、図書コーナーの本の閲覧時に使用する使い捨ての手袋を設置します。

（展示室）

- 10 直接手で触れることができる展示物を鑑賞するための使い捨ての手袋を設置します。

11 展示室内は常時換気していますが、可能な限り展示室のドアや窓を開けて換気を行います。展示上、ドア、窓を開ける事ができない部屋は30分に一回程度、展示室の換気を行います。

(その他)

12 手すり、トアノブ、エレベーターのボタン、テーブルなどを適宜殺菌消毒します。

13 トイレの洗面に使い捨てペーパーを設置します。

**【スタッフの健康管理】**

1 毎日スタッフの検温を行います。

2 スタッフはマスクを着用し、手洗い・手指の消毒を徹底して実施します。

3 来場者への資料の配布、荷物の対応等の場合、手袋を着用します。

作家略歴

■上坂 直（うえさか なお）

1991 年、兵庫県生まれ。



【受賞歴】

2019 第 2 回公募 アートハウスおやべ現代造形展 特別賞（北日本新聞社賞）

2018 第 8 回新鋭作家展 優秀者選出

2015 Tokyo Midtown Award 2015 準グランプリ

【主な展覧会】

2019 「六本木アートナイト 2019」、六本木ヒルズ他、東京

2019 第 8 回新鋭作家展「あ、これ、ウチのことです。」、川口市立アートギャラリー・アトリア、埼玉

2019 「アートハウスおやべ 第 2 回現代造形展」、アートハウスおやべ、富山

2018 「第 8 回新鋭作家展 二次審査プレゼンテーション展示」、川口市立アートギャラリー・アトリア、埼玉

2018 「池袋アートギャザリング公募展 IAG AWARDS 2018」、東京芸術劇場ギャラリー、東京

2017 「NIIGATA オフィス・アート・ストリート」、新潟

2017 宇奈月温泉交流施設「うなジオ」内 常設作品展示、うなジオ、富山

2017 「第 40 回レモン展（学生設計優秀作品展 - 建築・都市・環境 -）」、明治大学駿河台キャンパス、東京

■大洲 大作（おおず だいさく）

1973 年、大阪府生まれ。



【主な展覧会】

2019 「大洲大作 未完の螺旋」、京成電鉄旧博物館動物園駅、東京

2018-19 「めがねと旅する美術展」、青森県立・島根県立石見・静岡県立美術館、各県巡回

2018 あいちトリエンナーレ × アートラボあいち「サイト&アート 02 窓から。」、愛知

2018 A-Lab Exhibition Vol.14 「それぞれのリアル」、あまらぶアートラボ「A-Lab」、兵庫

2018 「Another Tokyo」、スパイラル、東京

2017 「ラブラブショー 2」、青森県立美術館、青森

2017 「写真 + 列車 = 映画 市川平 大洲大作 瀬尾俊三」、カマタ ソーコ、東京

2017 「石の街うつのみや / 大洲大作・写真の仕事 - 石の街」、宇都宮美術館、栃木

2016 「さいたまトリエンナーレ 2016」、埼玉

2016 「Afterglow」、POETIC SCAPÉ、東京

2015, 2017, 2018 「ホテ山ビエンナーレ」、青森

2014 「大洲大作：光のシークエンス」、Gallery PARC、京都

2013 「PANORAMIC WINDOW / 光のシークエンス」、サイギャラリー、大阪

2012-2013 「始発電車を待ちながら」、東京ステーションギャラリー、東京

作家略歴

■木藤 富士夫（きとう ふじお）

1976年、神奈川県生まれ。

【主な展覧会】

- 2019 「UNKNOWN ASIA EXTRA ASIAN ART EXCHANGE」、中之島ダイビル、大阪  
2019 「公園遊具」、鳥羽、三重  
2019 「公園遊具」、銀座・大阪ニコンサロン、東京・大阪  
2019 「#005 PHOTO Playground」、銀座 SONY PARK、東京  
2017 「公園遊具」、池袋ジュンク堂、東京  
2017 秋元机氏 二人展「JAMAIS VIU」、台北  
2017 「公園遊具」、RED PHOTO GALLERY、東京  
2016 「公園遊具」、デザインフェスタギャラリー、東京  
2015 「公園遊具」、デザインフェスタギャラリー、東京  
2012 「関西札遊び」、コニカミノルタギャラリー、東京  
2012 「ZOO COLLECTION」、エプサイト ギャラリー、東京



■本多 大和（ほんだ やまと）

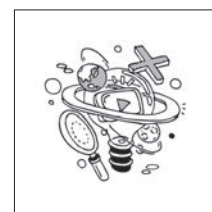
1988年、東京都生まれ。

【受賞歴】

- 2019 SICF20 EXHIBITION オーディエンス賞  
2018 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA 一般 / インタラクティブアート部門入賞  
2013 第17回文化庁メディア芸術祭 審査委員会推薦作品

【主な展覧会】

- 2020 グループ展「TWO POCKET」、HALO SPACE04、東京  
2019 「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2019」、六甲高山植物園、兵庫  
2019 「阪神なんば線ミーツ・アート in あまがさき」三和市場、兵庫  
2019 「魔法の美術館 光と遊ぶ、真夏のワンダーランド」山梨県立美術館、山梨  
2015 「そうぞうの遊び展」画廊一兔庵、東京





参考図版



1



2



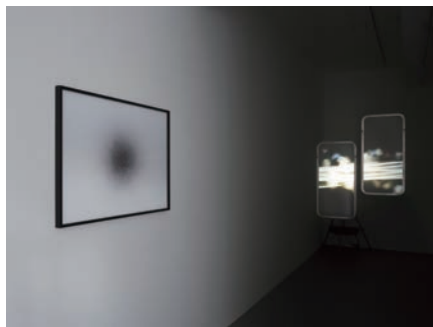
3-1



3-2



4



5



6



参考図版



7



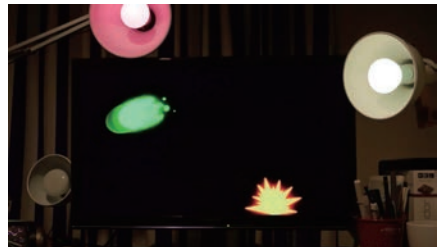
8



9



10



11



12



13

---

参考図版

1. 上坂 直 | 『東京的遭遇：六本木』 | 2015 | 撮影：谷裕文 / 田辺康孝
  2. 上坂 直 | 『所在譚』 | 2019 | 撮影：馬込将充
  - 3-1、3-2. 上坂直 | 『個人的聖域群：川口』 | 2019 | 撮影：末正真礼生
  
  4. 大洲 大作 | 『PANORAMIC WINDOW - 山田線』 | 2012
  5. 大洲 大作 | 写真左 『光のシークエンス - Ombre 〈奥羽本線〉』 | 2015  
| 写真右 『Afterglow』 | 2017
  6. 大洲 大作 | 『光のシークエンス - Trans / Lines』 | 2017
  7. 大洲 大作 | 「ラブラブショー2」(榎忠とのコラボレーション) | 2017
  8. 大洲 大作 | 『未完の螺旋』 | 2019
  9. 大洲 大作 | 『光のシークエンス - 螺旋の日々』 | 2019
  
  10. 木藤 富士夫 | 『北区王子六丁目児童遊園』 | 2015
  
  11. 本多 大和 | 『PLRAY』 | 2018
  12. 本多 大和 | 『kotonoha』 | 2018
  13. 本多 大和 | 『メイト』 | 2019
  13. 本多 大和 | 『PLRAY』 | 2018
-